



大阪部会(第 42 回)

日 時: 2015 年 2 月 28 日(土) 18:00~20:20

場 所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス

【内容要旨】 第 42 回の大阪部会の出席者は 7 名。

- (1) まず、経済教育ネットワーク篠原総一代表（同志社大学）から、最近の活動報告があり、1 月 31 日に名古屋で開催された「先生のための冬の経済教室」、2 月 14 日に川口市で開催されたワークショップなどの内容が紹介された。名古屋では部会が立ち上がり、4 月 11 日に初めての名古屋部会が開催されることになった。あわせて 1 月 31 日に開かれた札幌部会について、野間から報告があり、大上康裕氏（北海道教育大学）の授業案などが紹介された。
- (2) 次に、大阪では 8 月 6 日に高校の部、8 月 7 日に中学の部が実施される「先生のための夏休み経済教室」について意見交換を行った。とくに、講演会や時事問題解説がどの程度望まれているのか、役に立つのかという点について議論した。各部会での意見もふまえて、プログラムの検討は現在進められている。
- (3) 次に、大塚雅之氏（三国ヶ丘高等学校）から「政治・経済の授業における I C T 機器の活用」と題する報告があった。50 回分の政経の授業を、I C T 機器を使いながら行った経験を踏まえ、パワーポイントなどを使った授業のメリットとデメリット、I C T を使った授業の注意点、必要とされる工夫などをまとめたものである。それに対して出席者から、中学校ではパワポを導入しても、だんだんと使わなくなっているなどの指摘があった。
- (4) 山本雅康氏（奈良学園中学校高等学校）からは、興味深い試験問題として、2014 年度大学入試センター試験の地理 B 第 3 問の問 4（ある市における施設の立地を考える問題）が紹介された。図や資料をみて考えさせる問題は、高校入試問題において増える傾向がみられ、大学入試の地理の問題においても経済的な見方・考え方が問われている一例である。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2015 年 5 月 9 日(土)、時間は 18:00~20:00、場所は未定。